

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.261)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます

令和5年度に操業が終了した豊田PCB処理事業所では、現在、施設の解体撤去を進めています。施設内には処理の過程でPCBが付着した設備等もあるため、これらの設備等についてはPCBを除去しながら、安全且つ確実な解体撤去に取り組んでいます。

本年は、まずは先行して高濃度にPCBが付着している設備を中心に解体撤去を進める計画としており、操業時に使用していた洗浄設備を利用してPCBの除去を進めています。

解体撤去の実施に際しましては、以前と同様に、何よりも安全が最優先という基本的な考え方を継承しつつ、早期の解体撤去完了に向けて取り組んでいく所存です。

本年も引き続き、地域の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



令和8年1月
豊田PCB処理事業所長 石垣 喜代志

2. 地域協議会を開催しました

11月14日(金)、事業所周辺の7自治区長の皆様(2名欠席)や豊田市廃棄物対策課、環境保全課の方々にご出席いただき、令和7年度JESCO豊田地域協議会を開催しました。

会議では、施設解体撤去工事の進捗状況を説明し、防護服の試着体験も行いました。初めての体験にもかかわらず、区長の皆様はスムーズに試着をされ、「高濃度エリアでこの状態で作業するのは大変だ。」との感想をいただきました。

また、施設の解体撤去費用や解体後の跡地利用についての質問もあり、活発な意見交換を行うことができました。



3. 秋期設備点検を実施しました

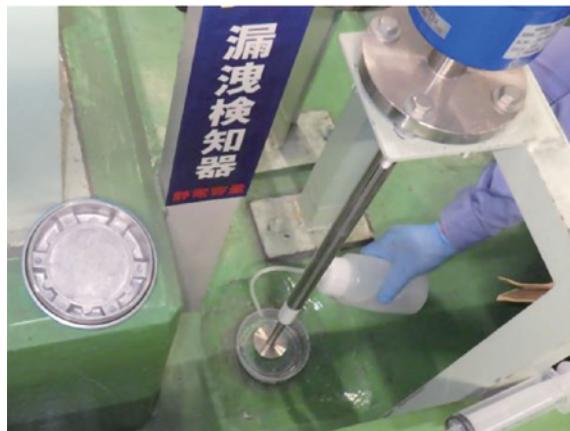
令和7年度から設備点検は年1回、7月に実施していますが、この他、今後の解体撤去業務においても必要な設備について、施設を一時停止して点検・整備を行いました。主な内容は以下のとおりです。

- ・排気処理設備の不具合箇所の補修
- ・PCBを無害化するために使用していたSD剤(金属ナトリウム分散体)を処理する液処理設備の整備
- ・解体撤去でも使用する搬送設備の点検・整備

解体撤去完了まで稼働が必要な設備はまだ多くあります。今後も確実に保全しながら、解体撤去を進めていきます。



液処理設備の点検



漏洩検知器の作動試験

また、12月4日には漏洩検知器の動作試験を実施しました。油類や薬剤等を保管するタンクを設置しているエリアの防油堤内には、漏洩検知器を設置しており、万が一薬液が漏れた場合、制御室へ警報が出る仕組みになっています。漏油検知器については、全77か所について定期点検時を含めて半年に1度の作動試験を行っています。安全対策を徹底し、外部への漏洩防止に努めています。

4. 新任安全監視委員の勉強会を開催しました

11月27日(木)、豊田市PCB処理安全監視委員会の新任委員4名(1名欠席)の皆様を対象に勉強会を開催しました。

勉強会では、豊田PCB廃棄物処理施設の紹介ビデオをご覧いただき、豊田市廃棄物対策課からは安全監視委員会の設置目的と役割、PCB廃棄物処理の法体系や過去の事故・トラブルについて説明がありました。JESCOからは、施設の解体撤去計画や現在の進捗状況、安全対策について説明しました。最後に、見学者通路から解体撤去を進めている施設内の状況をご覧いただきました。



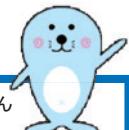
デジ丸

問合せ先

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



アザラシのぴーちゃん